



# ら・ら・らフェスティバルを終えて

## 「午前からの開始で 来場者が五割増し?」

事業委員長 佐藤ひとみ

野幌公民館の一階をほぼ借り切る形で四年目となった今年のフェスティバルは、新たな取り組みにより来場者が三百名を超えるという快挙となりうれしさでいっぱいです。

新たな取り組みとしては、開始時間を昨年までの午後から午前に変えました。準備の時間が四時間から二時間に短縮され、多少不安もありましたが、イベントに慣れている参加団体がほとんどで何とか間に合いました。午前開始に伴い、昼食用の飲食コーナーを新たに増やす提案が出され、どうやって出店者を探そうかと考えていたところに協力してくださる方が現れ、本当に助かりました。

事業のタイトルが「生涯学習フェスティバル」から「ら・ら・らフェスティバル」へと変えたこともイメージアップとなりました。

また、昨年から話題に上がっていた生涯学習のマスコットである「マナビ」の着ぐるみを深川から取り寄せ、会場内がその時ワンダーランドとなったことは良かったのですが、かなり年季の入った物でしたので着ていただいた職員さんにはご苦労を掛けたことと思います。学校との連携ということでは江別太小学校の合唱団の皆さん



バルですが、誰でも気軽に立ち寄り体験してみる、活動を知る、発表を見て興味を持つなどさまざまな場面に会ってほしいと思います。そして、より多くの市民の方が生涯にわたって続けられる生きがいを見つけてくださるとうれしいです。新たな取り組みのため、不向きなことも多々ありましたが、この場をお借りしておわび申し上げます。参加団体・事務局の皆さん、反省を生かし、より良い形を模索し、来年につなげていきたいと思います。

にステージ発表をしてもらいました。親御さんの参加もありましたので、来場者が増えた要因の一つとなったでしょう。

市民の皆さんが「できること、やりたいことを見つけてみよう」との思いで開催しているフェスティ



## 「江別を 踊り子のふるちこ」

江別まつことええ&北海道情報大学

代表 柏木真紀子

江別市を愛し、自分たちの得意なことで江別市を盛り上げる各団体の活動を披露する「ら・ら・らフェスティバル」そのオープニングで踊る場を設けていただき、大変光栄なこと感謝いたします。江別まつことええ&北海道情報

当日の映像はこちらの「QRコード」からご覧になれます。



## 「ら・ら・らフェスティバル に参加して」

江別太小学校合唱団 山田 智子

私たちが江別太小学校合唱団は、今回初めてこのフェスティバルに参加しました。事前に、このフェスティバルには、たくさんの方々が体験活動があると聞いていたので、子どもたちにとっても楽しみにしていました。

当日、会場に少し早く到着したので、発声練習をする前に子どもたちとフェスティバルの様子を見ることができました。少しの時間でしたが、風船を作っていた

大学は、今年で結成二八年目を迎え、六月のYOSAKOIソーラン祭りではセミファイナル優秀賞を受賞しました。江別市と友好都市である高知県土佐市から受け継いだ提灯を使つての演舞は祭り全チームの中において唯一無二の存在であり、加えて近年は若さとパワー溢れるチームに成長しました。これからも伝統と革新を重んじながら、かっこいいね、また見たいねと二人でも多くの皆様に応援される演舞やチーム作りを目指して進んでいきたいと考えています。



## 「ら・ら・らフェスティバルの ステージ、今年も参加」

えへつ手話の会 鈴木真由美

今年の生涯学習推進協議会のフェスティバルは、ネーミングが「ら・ら・ら」と変わりました。えへつ手話の会は、昨年に引き続き「手話の紹介・手話コース」の発表を行いました。昨年は、江別市に「手話言語条例の制定」をお願いして



たり、お花を生けたり、パソコンで視聴するコーナーがあったりと、とても充実していることに驚きました。会場の皆さんに温かく迎えられる、子どもたちもとても満足していました。

発表のときには、観覧している皆さんが私たちの演奏に耳を傾けて聴いてくださり、大変ありがたかったです。私たちの歌声を、地域の皆様に聴いていただき、少しでも音楽の楽しみや喜びを感じていただけたらと願っています。このような発表の場をいただき、心から感謝しております。お招きいただき、ありがとうございました。

また、フェスティバルの記録を担当していたメテインターネット江別の方から「動画による手話紹介をしてはどうか」とのご提案があり、機関紙「ら・ら・ら」の手話単語の横にQRコードをおき、そこからスマホに読み込んで手話動画を見ることができるようになりました。一人でも多くの方に「手話のこと」「手話が必要とする聴覚に障がいのある方々のこと」を理解していただく大きなチャンスであり、大変喜んでおります。

私たちが手話の会は、市民のみならずの全てが手話で会話できるようにしたいと願っております。江別市内にはえへつ手話の会、大麻手話の会、手話通訳問題研究会があります。江別聴覚障害者協会の指導協力のもと、毎週例会を開いています。日常のいろいろな学びをフェスティバルで発表することにより、また学習を続けていくことの思いが湧いてまいりました。ありがとうございました。



体験ブース

「手ひっくり花器で」  
癒しの花を」

MOA美術文化サークル  
向 洋子

私たちは、今回カラーの紙コップとペットボトルにペーパーを貼り、皆さん楽しんでいただこうと思ひ作りしました。当日は親子連れの方、子供同士、大人の方、それぞれ自分の好きな花器とお花を選び楽しんでおり、表情がとても微笑ましく見えました。



をよく見て楽しんでいただけたらいいんですよ」という会話の中で、例えば花器も家庭にある身近な雑器などを利用してできることもお話ししました。気軽に花に触れて飾ることにより、家庭でのコミュニケーションの場がもてるのではないのでしょうか。



あつという間にお花もなくなりました。美しいお花に触れて心が癒やされ、明るい気持ちになります。

ぜひ生活にお花を取り入れ楽しんでいただけたらと思います。

アートバルーン  
体験コーナー

江別子ども劇場 井谷照子

「われる？われる？」とこわくわく作る大人や「わー、できたー！」と満面の笑みを浮かべて楽しむ子どもたち。アートバルーン作りは、性格があらわれていました。そして完成すると、子供も大人もとてもうれしそうに持ってかえっていました。何度も作りに来るお

子さんもいて、楽しんでくれていたようです。自分で作ったアートバルーンは、格別なものになったのではないのでしょうか。たくさん「できたー！」に出会えて、楽しい一日になりました。ありがとうございました。



「ら・ら・らフェスティバル」  
に参加して

江別市食生活改善協議会  
会長 伊藤 洋子

今年も昨年同様、調理室で行われたピザのトッピング体験コーナーを担当いたしました。バランスの取れた食事をし、健康な人が増えることを目標に活動している当協議会は、二



のみじん切りからはじまるソーから手作りし、生地いっぴいに彩りのいい野菜・チーズがのるようを用意しました。昨年より十八人分多い七十二人分です。

開始早々大忙しです。一人での参加も多く、男性、家族連れ、グループ皆様生地伸ばしから笑顔・笑顔です。

トッピングでは会話が弾み、しめじをハート型にしたり、トマトを花の形にしコーンを芯にしたりオリジナルに富んでいました。食べ物に人を笑顔にします。手洗いを徹底してからはじめましたが、食中毒も転倒もケガもなくほっとしています。

「ら・ら・らフェスティバル」体験ブースで

子ども文化ネットワーク・江別 松山 和子

九月一日良いお天気でした！「こねっと」子ども文化ネットワーク・江別」は今年も、ホールにて体験ブースを行いました。準備も終わらないうちから、今年は何を作るの？と参加してくれた方、親子でそれぞれ好きな色の折り紙を三色選んで「こま」を作った方たちと、例年になく多くの方が参加してくれました。「むすかしいんじやないの？」といいながらも、完成すると「きれいだね、たのしいね」と喜んでくれました。牛乳パックで作る金魚は水遊びにぴったりです。仕上げにビニールの袋に入れて金魚すくいの気分でした。



午前中も午後もいい笑顔が集まりました。施設のお年寄りのためにと頑張った方もいました。楽しくなる時間をいっしょに過ごせた私たちとてもうれしかったです。ご参加いただき有難うございました。また、来年お楽しみに！

これからのイベント

◆江別短歌会

○江別市民文化祭短歌大会  
日 時/2019年10月19日(土) 13:00~  
場 所/野幌公民館 研修室3・4号  
連絡先/江別短歌会事務局(菅野:385-5676)

◆江別生涯学習インストラクターの会

○どさんこの苗字とルーツ調べ  
日 時/2019年10月19日(土) 10:00~11:30  
場 所/野幌公民館 視聴覚室  
講 師/苗字研究家 岸本 良信 氏  
参加料/500円  
定 員/25名  
連絡先/江別生涯学習インストラクターの会  
(松山:383-5751)

◆子ども文化ネットワーク・江別

○こねっと おはなし絵本とオカリナのしらべ  
日 時/2019年10月19日(土) 10:30~11:30  
場 所/江別市旧町村農場  
連絡先/子ども文化ネットワーク・江別  
(高木:383-4733)

○こねっと 15周年記念フェスティバル

『「ここに音楽隊」と「人形劇団コロポックル」がやってくる』  
日 時/2019年11月30日(土)13:00~15:00  
場 所/野幌公民館 研修室3・4号  
連絡先/子ども文化ネットワーク・江別  
(高木:383-4733)

◆MOA美術文化サークル

○MOA美術館 江別児童作品展  
日 時/2019年10月19日(土)9:30~16:00  
2019年10月20日(日)9:30~15:00  
場 所/江別市セラミックアートセンター  
連絡先/MOA美術文化サークル  
(向:383-3266)

◆江別消費者協会

○創立50周年記念事業 第48回江別消費者大会  
記念講演「ノーベル賞への道 私のこども時代」  
(えべつ市民カレッジ連携講座)  
日 時/2019年11月9日(土)10:30~12:00  
場 所/江別市民会館37号室  
講 師/北海道大学名誉教授  
理学博士 鈴木 章 氏  
連絡先/江別消費者協会(松下:381-1026)

◆江別創造舎

○語る!つなぐ!スーパープレゼンテーション!2019  
日 時/2019年12月1日(日)13:30~16:00  
場 所/野幌公民館3・4号  
講 師/建築家 井口 健 氏  
(北海道百年記念塔・江別市役所等設計)  
連絡先/江別創造舎  
(北翔大学地域連携センター:387-3939)



まなぼう Vol.5 「江別消費者協会」  
このマークをご存じですか?



このマークは、平成八年(一九九七年)北海道消費者協会三五周年を記念し、公募により選ばれました。北の大地に育まれた地域の暮らしに根付いた消費者運動のエネルギーが、より強いパワーとなって北海道消費者協会に集められ、明日に向かって限りなく広がる姿を表しています。

当会では江別市より委託を受け江別市消費生活センターで消費者被害の相談の受付や市民講座、会報誌「くらしのひろば」による情報発信、市内十四団体との江別市消費者被害防止ネットワークの構成団体として消費者被害の未然防止に努めております。

当会は今年五十周年を迎えました。来る十一月九日には人生の大先輩であります、ノーベル化学賞を受賞された鈴木章先生をお招きし、先生の幼少期のお話などをお聴きする記念講演会を開催いたしますので、ご拝聴いただけましたら幸いです。

当会はこれからも活動の輪を広げ、市民の安心・安全な暮らしを守るための一助となれど思っています。

「I Love You」



「QRコード」をスマートフォンアプリ等、コードリーダーで読み取っていただく、手話の動画がご覧になれます。

【おわり】  
「ら・ら・ら」第88号回覧特別号の「手話をまなぼう」の記事で、「来てください」とあるのは「近づく」の誤りでした。

《編集後記》

胆振東部地震から一年。日本初のブラックアウトを経験したが、今年は千葉県で台風十五号による甚大な停電被害。杉の倒木が復旧の妨げ。防災の備えは十分ですか?

広報委員 上野 聡志